

# データを編集して アクティブ画面に入力

Windows 10/11対応

ソフトウェア・キーボードウェッジ

## RS-receiver Lite

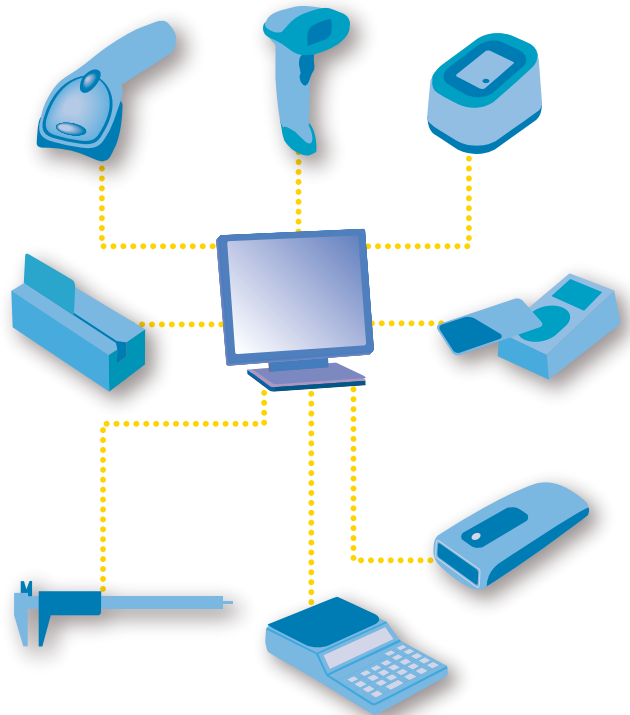
### RSレシーバライト



バーコードリーダー、RFIDリーダー、カードリーダー、OCR、シートリーダー、デジタル計測器等のシリアルデータ入力に最適です。

#### 主な特長

- ◆ 複数のCOMポートにより複数のデバイスを同時に接続
- ◆ パーチャルキーモードとキャラクタモードをサポート
- ◆ 2次元シンボル等の大容量データが入力可能(最大4096バイト)
- ◆ キャラクタ間ディレイ設定で桁落ちを防止
- ◆ 文字コード選択により文字化けを防止
- ◆ 文字列の削除、切り取り、付加、置き換えが可能
- ◆ 文字列位置またはGS1アプリケーション識別子でデータ抽出
- ◆ 入力データをモニターし、指定したファイル名に自動保存
- ◆ 二度読み防止機能、仮想COMポート再接続機能をサポート
- ◆ HomeやEnterなどの出力前処理、出力後処理を設定可能
- ◆ LANソケット機能によりネットワークでデータ収集



#### 入力データ

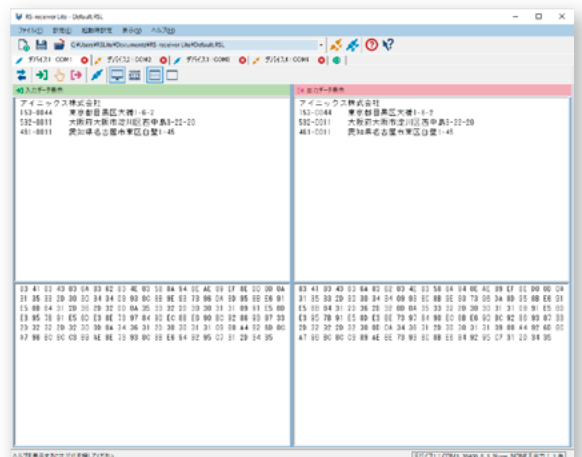
1, 2, 3 CR  
1 2 3 CR  
1 2 3 CR  
1 2 3 A B C 4 5  
1 2 3 4 5  
(01)14530825001874(30)100  
12345

#### 編集

カンマをTABに置換  
先頭に文字列を付加  
後尾文字列の削除  
特定文字列の切取  
データを抽出  
AI(O1)データ抽出  
前処理、後処理

#### 出力データ

1 TAB 2 TAB 3 CR  
A B C 1 2 3 CR  
1 2 3  
1 2 3 4 5  
2 3  
14530825001874  
Home 12345 Enter



## シリアルデータをカーソル位置に入力

RS-232CやUSBのシリアルデータをアクティブ画面に表示させる方法としては、一般的にSendKeysが用いられますが、RS-receiver Liteは、「キャラクタモード」と「バーチャルキーモード」もサポートしました。「キャラクタモード」は、文字を直接アクティブ画面に送りますので、データの中に制御文字があってもデータとして入力できます。一方、「バーチャルキーモード」は、キーボードが押された状態変移を含めて現在アクティブになっているアプリケーションに送りますので、制御文字は、キーボード入力と同じ動きになります。

## データを編集し自動入力

入力データの先頭や後尾から不要な文字列を削除したり、入力データの先頭や後尾に任意の文字列を付加することができます。また、カンマをTABに置き換えるような文字列の置き換えや、指定文字列の切り取り、先頭よりnバイト目からmバイト目までの文字列を抽出することもできます。更に、GS1アプリケーション識別子による文字列の抽出も可能です。

シリアルデータをアクティブ画面に送信する際に、Homeキーなどを押してカーソルを移動させ、その後データを入力してから確定するような動作が必要な場合があります。このような動作を出力属性の「前処理」と「後処理」の設定によって行うことができます。

## RFIDリーダ、Bluetoothリーダに便利な機能

RFIDは、検知エリアの境界で二度読みすることがありますので、二度読み防止機能をサポートしています。Bluetoothは、通信エリアから出て仮想COMポートから切り離された後、再び通信エリアに戻っても通信できないことがありますので、COMポート再接続機能をサポートしています。また、出力データをLANのソケット通信によりサーバや特定のPCに送信できますので、ネットワークによるデータ収集が可能です。

## 二次元シンボルに最適

二次元シンボルのような大容量データを入力する場合、従来のキーボードウェッジリーダでは、キーボードバッファが溢れ正常にデータを取り込むことができないことがありました。RS-receiver Liteは、最大4,096バイトの入力バッファを持っていますので確実なデータ入力が可能です。また、二次元シンボルのデータに含まれる仮名漢字やTABなどの特殊文字、並びに、セパレータ(FS,GS,RS,US)を入力することもできます。

## データのモニター、保存、ログ機能

データ編集の削除機能を使用する場合、うっかり必要なデータを削除することがあります。そこで、削除部分を確認するためにプレビュー機能を搭載しました。

入力データと編集後の出力データをテキスト形式とヘキサ形式で表示できますので、簡易なラインモニターとしても利用できます。また、出力データは、予め設定されたファイル名で自動的に保存することができますので、簡易的なデータロガーとしても利用できます。

また、システムログ機能によって通信状態を記録していますので、障害が発生した時の原因究明に役立ちます。システムログの最大記録件数は100件で、最大容量は1.2MBです。

## 確実にデータ収集

従来、複数のデバイスを接続する場合は、複数のアプリケーションを立ち上げなければなりませんでしたが、複数のCOMポートを設定できますので、異なるデバイスを同時に接続できます。入力文字コードは、従来のShift-JISの他に、UTF-8、UTF-16 Little Endian、UTF-16 Big Endianもサポートしましたので、OSやアプリケーションに合わせた文字コードを選択できます。環境依存により桁落ちして入力されることがありますので、キャラクタ間ディレイの設定を可能にしました。

- RS-receiver Lite は、パソコン 1 台に 1 ライセンスが必要です。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

### Auto-ID, Network and Integration

**Ainix** アイニックス株式会社  
AINIX Corporation

本社 〒153-0044 東京都目黒区大橋1-6-2 池尻大橋ビルディング  
TEL(03)5728-7576 FAX(03)5728-7510

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-22-20 川丸ビル  
TEL(06)6838-3071 FAX(06)6838-3117

名古屋営業所 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル  
TEL(052)950-7510 FAX(052)950-7570



## RS-receiver Lite V4.0 標準価格

- ◆ 1ライセンス RLW400JA ..... ¥12,000 (税別)  
JAN 4530825 001877
- ◆ 5ライセンス RLW400JB ..... ¥42,000 (税別)  
JAN 4530825 001884
- ◆ 10ライセンス RLW400JC ..... ¥72,000 (税別)  
JAN 4530285 001891
- ◆ 25ライセンス RLW400JD ..... ¥150,000 (税別)  
JAN 4530825 001891
- ◆ nライセンス RLW400JN ..... お見積り

32ビット版、64ビット版のインストーラが同梱されており、お使いの環境に合わせて自動的にインストールされます。弊社Webサイトよりデモソフトがダウンロードできます。

<https://www.ainix.co.jp/>